令和3年3月14日

学童野球関係者　各位

ＮＰＯ法人　新潟野球人

理事長　羽下　典男

「2021年度　キッズティーボール大会」のお知らせ

謹啓　早春の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から当会へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

　さて、皆様からご好評を頂いております小学１～３年生(４年生女子を含む)を対象としたティーボールへの取り組みについて、2021年度も5回の大会を企画致しました。1チームでも多くの参加を期待すると共に、野球人口の増加と学童野球全体のレベルアップにつながることを希望致します。

この「キッズティーボール大会」において、チームメンバーは必ずしも９人に満たずとも参加できるというシステムを採らせていただきました。

学童野球チームにおいて、「トップメンバー」「ジュニアメンバー」はそれぞれ試合に出場する機会を存分に得ております。しかし、小学１～３年生の「キッズ」たちは、自チームでの編成が困難な場合も多く、野球の楽しさを享受し技術研鑽することになかなかつながらないのが現状です。他県では既にこの「キッズ」時代からティーボールに取り組み、野球熱と技術の向上に効果を示した例もございます。

新潟においても「一人でも多くの野球児」を育てるため、又、学童野球関係者の皆様が取り組みやすい大会にすべく、担当者一同鋭意努力する所存でございます。何卒この新規「キッズティーボール大会」にご賛同いただき、多数ご参加賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

|  |
| --- |
| 《　お申し込み・お問い合わせ　》  　　ＮＰＯ法人　新潟野球人　　担当　キッズティーボール実行委員会　茨澤（バラサワ）  　　　　　　　　　　事務局　　〒950-0868　新潟市東区紫竹卸新町1989-1  （八千代工業株式会社　内）  　　E-MAIL 　zc544472@pf7.so-net.ne.jp  TEL　 ０９０－８９２１－３６７５(茨澤) |

【　2021年度　キッズティーボール大会　】　実施要項

1. ティーボール野球の目的
   1. ティーボールでは必ず「打てる」「走れる」。守備は「捕れる」「投げる」。つまり、野球の基本である「打って、走って、得点を取って、捕って、投げて、アウトが取れる」という一連の流れを体験することで野球の楽しさを知ることができます。
   2. 低学年から「野球のルール」を学習することが出来ます(ティーボールは一部特別ルールを除き野球規則に則ります)
   3. 攻撃側は実際に打って走ることで走塁の学習になります。守備側は連携プレー、カバーリングといった守備の基本的な動きを学習することが出来ます。

**⇒低学年で①②③を体験することで、四年生以降の野球につなげます。**

**⇒学童野球全体のレベルアップにつなげます。**

1. 実施要項
   1. 対象年齢・・・小学校一年生以上三年生以下の男女と**四年生女子**
   2. 参加資格・・・チーム毎の参加となりますが、チームの参加人数は一名からと致します。

　　　　　　　大会の際は、事前に各チームの選手登録をさせて頂き、9名に

　　　　　　　満たないチームは、それぞれを組合わせて1チーム（9名～12名程度）となるよう大会事務局にて事前に調整し混合チームと致します。

　　　　　　　(その場合、試合を采配する監督・先発選手やそのポジション・打順などは双方のチームで話し合って下さい)

　　　　　　　９名に満たない場合で、親交のあるチーム同士で混合チームとしての参加も認めます。

**※2019年参加資格改定**

**・小学4年生女子の参加を認めます。**

1. 大会予定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日時 | 大会名 | 会場 |
| 5/16(日)　AM | 第1回キッズティーボール野球大会 | 県スポ多目的広場 |
| 6/20（日）AM | 第2回キッズティーボール野球大会 | 県スポ多目的広場 |
| 7/25（日）AM | 第3回キッズティーボール野球大会 | 県スポ多目的広場 |
| 9/20（月祝）AM | 第4回キッズティーボール野球大会 | 県スポ多目的広場 |
| 10/17(日) AM | 第5回キッズティーボール野球大会 | 県スポ多目的広場 |

1. 備考

・参加料:無料

　・毎大会、大会運営チームを決めさせて頂き、グランドの設営をお願いする場合がございます。

　・会場と時間の都合上、全大会、参加チームは20チームまでと致します。(申し込み先着順)

　　(参加チーム数は変更となる場合がございます)

4)ティーボール野球特別ルール

《試合方法に関する事項》

1. 下記特別ルール以外は野球規則とする。
2. 全試合2イニングとする。
3. ティーボール形式とし、攻撃は１番から９番まで連続で打撃を行い、最終打者のプレー終了時までの総得点をイニングの点数とする。
4. 攻撃開始時は、最終打者より一塁・二塁・三塁と塁を埋めた状態より行う。
5. 各イニングの９番最終打者の攻撃時は2アウトの設定で試合を行う。
6. 空振り・三振は無しとする。
7. 守備は９人で行う。
8. 守備側が本塁ベース上でボールを頭上に上げアピールした場合に審判はボールデットを宣告する。宣告時に塁間にいる選手は元の塁に戻り試合を再開する。**但し3塁ランナーがいる場合は適用を除外し、タッチアウト・フォースアウトを優先しプレーを行い、該当するランナーが進塁の意思が無いと判断した場合、ボールデットを認める。**
9. 競技場区間線は学童の部規格とし、打撃ティーをホームベースより3mピッチャーマウンド側に設置する。尚、外野の距離は60m程度とする。
10. ホームベースよりダイヤモンド内に半径8mのラインを引き円内をファールボールとする。
11. ホームベース後方のボールデットラインは、ホームベースより半径8mのライン、また、1・3塁線に平行に8m引いたラインをボールデットラインとする。8mのデットラインよりボールが出た場合は全てテイクワンベースとする。

但し、グランド事情により異なる場合もある。

1. アピールは監督のみとする。
2. グランド特別ルールは、大会審判役員において決定する。
3. 各ブロックでリンク戦を行う。各ブロックで勝率が同じ場合は得失点差の多い方を勝ちとする。得失点も同じ場合は、総失点の少ない方を勝ちとする。勝率、得失点、総失点それぞれが同じ場合は抽選で勝負を決定する。

《競技運営に関する注意事項》

1. ベンチは組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
2. 試合をスピーディーに行うため、選手の攻守交代はかけ足で行うこと。

《審判に関する事項》

1. 記録員・塁審は参加チーム帯同とし、組み合わせ番号の若い方が記録員・球審・二塁、他方が一塁・三塁とする。

キッズベースボール大会運営補足

《試合の流れ》

1. 下記特別ルール以外は野球規則とする。
2. 試合前に先攻チームの監督に打順表を渡し、打順順に各選手に配布する。各選手は自分の打順に打席に入る前に球審に打順表を手渡す。
3. 攻撃開始時は、最終打者より一塁・二塁・三塁と塁を埋めた状態より行う。球審はそれぞれのランナーに誤りがないか、背番号とメンバー表を確認する。

④球審は何番打者であるかを発声し、プレイを宣告する。一つのプレーにおいて守備側が本塁ベース上でボールを頭上に上げアピールした場合に審判はタイムを宣告し、ボールデットとなる。**但し3塁ランナーがいる場合は適用を除外し、タッチプレイ・フォースプレイを優先しプレーを行い、該当するランナーが進塁の意思が無いと判断した場合、ボールデットを認める。**

宣告時に塁間にいる選手は、完全に塁上にいる場合を除き、元の塁に戻り試合を再開する。(球審は守備側が本塁ベース上でボールを頭上に上げアピールした場合のタイムの宣告は迅速に行う事が求められ、塁審は宣告時に選手が完全に塁に付いているかどうかの正確な判定が求められる)

⑤各イニングの九番最終打者の攻撃時は2アウトの設定で行う。すなわち、九番打者が打った打球がいずれかの塁においてアウトとなった場合は、その時点で攻撃終了となる。

**但し、ランナーが三塁を回ってホームに向かった場合は、タッチプレー・フォースプレイを優先し、例え守備側が本塁ベース上でボールを頭上に上げアピールしてもボールデットとはならない。**

⑥すべての走者において、走塁の際のリード及び盗塁はなしとする。

⑦捕手は、本塁でのクロスプレーが発生し怪我防止のためプロテクター・マスクの装着を義務**づける。**

④・⑤補足・・・守備側が本塁ベース上でアピールした場合ボールデットとなるが、ランナーが本塁に向かって走っている場合、タッチプレイ、フォースプレイを優先する。

主審はその場合、守備側のアピールを優先しボールデットとしてはいけない。

ランナーに進塁の意思がないと判断した場合はボールデットとする。

九番打者、つまり二死の場合も同様とする。攻撃が終わる場合は、①九番打者の打球がいずれかの塁においてアウトとなった場合、②本塁を目指すランナーがいなく、守備側がアピールした場合、③本塁を目指すランナーが本塁進塁を諦め、進塁の意思がないと判断した場合、のいずれかの場合となる。

(以上2013年8月追記)

以上